



頭を突き合わせ、お目当てのかるたを探す子どもたち。「残念！取られちゃった」

かるたを取って、地域を学ぼう

第30回新春郷土いろはかるた大会は1月14日、大迫コミュニティセンターで行われ、大迫地域の各小学校から、119人の子どもたちが参加し、白熱した対戦を繰り広げました。

大会は、低学年の部14チーム、高学年の部25チームによるトーナメント戦。相手より早く絵札を取ろうとする子どもたちの活気ある声と、応援に訪れた家族や友人の声援で会場は熱気に包まれました。

かるたは、由緒ある神楽は国の文化財など、大迫にちなんだ歌が題材。子どもたちは、かるた取りを楽しみながら、地域の歴史・文化を学んでいました。



合唱団の皆さんは、豊かな声量、幅広い表現力で観衆を魅了。昨年8月の発足以来、丁寧につくり上げてきた音楽は、この日「感動」という大きな実を結びました。

イーハトーブの空へ 響け歓喜の歌声

新市の誕生を記念して1月22日、イーハトーブ大音楽祭が文化会館で開かれました。

コンサートは、仙台フィルハーモニー管弦楽団(団員60人)二期会会員のソリスト4人を招いて行われました。この日ステージに立ったのは、旧4市町の公募で集まった市民約160人。満員となった会場で、昨年から本番直前まで練習を重ねてきた曲、宮沢賢治の「ポランの広場」、星めぐりの歌「精神歌」、イーハトーブの交響曲第9番「歓喜の歌」を高らかに歌い上げました。

管弦楽の重厚な調べ、豊かな低・中・高音が溶け合った見事な歌声は、聴衆を魅了。練習の集大成を余すことなく披露した皆さんに、客席からは好演をたたえる惜しみない拍手がいつまでも贈られていました。

子どもたちが小正月行事を体験

1月14日、石鳥谷町新郷の上郷地区で、小正月行事が行われました。

当日は、地元の子供会青年会、老人クラブなど約40人が参加。みずき団子飾り、農作物の豊作を祈る雪中田植え祈願、巻をまとった子どもたちが鶏の鳴き声をまねしながら各戸を訪問する「かせぎどり」などを行い、この1年の豊作と安全、心身の健康を祈りました。

普段は接することのない昔の生活文化にふれた子どもたち。地元で伝わる伝統行事に寒さを忘れて楽しく取り組み、元氣いっぱい笑顔を広げていました。



いり大豆を石うすでひいて、きな粉の作り方を学びました

花巻市博物館 入館者10万人達成！

花巻市博物館では1月28日、入館者が10万人に達し、記念セレモニーが行われました。

同館がオープンしたのは、平成16年4月。以来、入館者は順調に推移し、1年9カ月という短期間で達成となりました。

10万人目になったのは、八幡平市から友人と観光に訪れた津志田智美さん。偶然にも幸運に巡りあい、博物館などが好きで、よく見に行きます。ここは今日初めて来ましたが、まさか10万人目になるなんて、戸惑い気味に話していました。

同館では、今後もさまざまな企画を展開予定です。皆さんも歴史にふれに出かけてみませんか。

万が一の事故や火災に備え

東和中学校生徒数252人では1月27日、バス事故や火災などの非常災害に備え、全校生徒による総合避難訓練を実施しました。

この日は、花巻消防署東和分署の職員の指導のもと、通学バスと校内での火災発生を想定し、バスの非常口の開け方や煙の中からの避難の方法を学びました。

2年生の菊池歩香さんは、「バスの非常口から避難する方法が分かりました。でも、本当に災害に遭ったときにこうできるかな」と非常時の対応の難しさを語っていました。



バス内の火災を想定し、普段は使うことのない非常口から避難。とまどいながらも、素早く対応しました



記念の垂れ幕を開き、10万人達成を祝いました(左から)渡辺勉市長職務執行者、津志田智美さん、梅原康館長)